

## 中学校 音楽科学習指導案

指導者 増井 知世子

- 日時** 平成28年10月15日(土) 第1限(9:30~10:20)
- 場所** 第2音楽教室
- 学年・組** 中学校1年C組 43人(男子22人, 女子21人)
- 題材** シューベルト作曲, ゲーテ詩「魔王」
- 目標**
1. 語り手, 父, 子, 魔王の旋律の雰囲気や歌い方の違いを感じ取る。
  2. 発表された意見を整理し簡潔にまとめる力を身につける。意見交流を行い, 共通して感じたことを確認したり, 自分が気づかなかった点を知る。
  3. 複数の演奏(歌手の声域, テンポの緩急, 言語が異なるもの)を聴き比べ, それぞれの特徴や良さを発見する。

### 指導計画(全3時間)

第一次 日本語の歌詞による演奏やドイツ語の歌詞による演奏の鑑賞を通して, 詩の内容と曲想との関わりについて理解する。さらに, 実際に日本語の歌詞で歌ってみることを通して, その理解を深める。 2時間

第二次 複数の演奏を聴き比べ, それぞれの特徴や良さを発見する。 1時間(本時)

### 授業について

シューベルト作曲「魔王」は, 詩の登場人物の様子と曲想との関係がわかりやすく, “子どもはなぜ死んでしまったのか”“ゲーテはなぜこのような詩をつくったのか”という謎が心に残る名曲で, 毎年, 中学校1年生に人気のある鑑賞教材である。

本研究大会のテーマに基づいて授業を構想する段階で, 「魔王」の鑑賞とアクティブ・ラーニングを結びつけることを考えた。基調提案でも述べたように, 芸術科では, アクティブ・ラーニングの取り組みにおいて, (1)意見交流を通して学習を深めること, (2)思考過程を“可視化”することを意識して研究を進める。(1)の意見交流は, 第一次の学習段階から行う。(2)の思考過程の“可視化”は, 発表やワークシートへの記入などの方法を考えている。

本時における比較鑑賞のための教材は, 「18人の名歌手によるシューベルト 魔王」というCDのなかから, 次の①~④の4つの演奏を取り上げる。

- ①ソプラノ, ドイツ語によるもの(原曲はドイツ語), テンポが一貫して速い
- ②アルト, ドイツ語, 緩急のつけ方が顕著
- ③登場人物を3人の歌手(テノール, バス, ボーイソプラノ)で歌い分けているもの, フランス語, 管弦楽による伴奏(原曲はピアノ伴奏)
- ④ソプラノ, ドイツ語, 声色の変化が多彩

声色や緩急のつけ方や言語の違いに着目して聴かせ, 表現の多様さや面白さに気付かせたい。授業では, まずクラス全体で鑑賞して個人でワークシートに“気づき”を記入し, グループ内, グループ間で意見を交流させる。音楽科では, 意見を交流して終わりではなく, 実際に音楽を再度聴いて確かめることが大切である。グループ内で確認したい演奏を聴くために, 各グループに2台ずつCDデッキを準備した。

本時の学習目標を達成するためには, 上記目標の1を十分に達成させておく必要がある。そのために, 日本語による「魔王」をクラス全体で歌う(男子は声域に少し無理があるかもしれないが)ことにも挑戦させた。研究授業では生徒たちから活発な意見が出され学習が深まることを期待したい。

**題目** いろいろな「魔王」の比較鑑賞

### 本時の学習目標

1. 複数の「魔王」の演奏を声色やテンポの緩急や言語の違いに着目して聴き、それぞれの表現の特徴を感じ取る。
2. 意見の交流を行い、共通して感じたことを確認したり、気づかなかった点を知る。

### 本時の評価規準（観点/方法）

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
複数の「魔王」の演奏を鑑賞することに関心を持ち、学習に主体的に取り組むとともに、他者の意見を聞いて学習をさらに深めようとしている。/ 観察・ワークシート	複数の「魔王」の演奏を、音色やテンポの緩急や言語の違いに着目して聴き、それぞれの特徴について自分のことばで説明できる。/ 観察・ワークシート

### 本時の学習指導過程

学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
<p>&lt;導入&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習目標の確認</li> </ul> <p>&lt;展開&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体での鑑賞</li> <li>・グループ内での話し合い、音による確かめ</li> <li>・話し合いの結果の発表</li> <li>・発表内容の音による確かめ</li> </ul> <p>&lt;まとめ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4種類(①～④)の「魔王」を比較鑑賞することを知る。</li> <li>・声色やテンポの緩急や言語の違いに着目して4種類の「魔王」を聴く。</li> <li>・演奏を聴いて気づいた特徴を述べ合う。演奏を再度確認したい場合はCDを聴く。班長は、出された意見を簡潔にまとめ、グループ用のカードに記入する。</li> <li>・各グループの代表はカードを掲示し、意見を発表する。互いに聞く。</li> <li>・①～④の演奏から2つを選んでクラス全体で再度聴く。模造紙にまとめられた意見の確認を音で確かめる。</li> <li>・各自、ワークシートに学習のまとめを記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で、ワークシートに気づきを記入しながら聴かせる。</li> <li>・時間に制限があるため、話し合いの対象とする演奏をグループに割り当てる。(1班①②, 2班①③, 3班①④, 4班②③, 5班②④, 6班③④, 7班②④)</li> <li>・指導者は意見をまとめる。</li> <li>・時間の関係で2つの演奏に絞る。</li> <li>・1つの曲でもいろいろな表現の工夫をすることができること、学習を深めるための意見交流であったことの振り返りを行う。</li> </ul>
備考：教科書「中学生の音楽 1」、CD「18人の名歌手による魔王」、ワークシート、掲示用模造紙、グループ用カード14枚、マジック14本、CDデッキ14台、イヤホン予備10本		